

徳島市選挙管理委員会は20日、同市が進める新町西再開発事業の是非を問う住民投票の実現を目指す市民グループ「住民投票の会」（代表委員・太田周造さんら3人）から出された署名簿の審査を終えたと発表した。

提出署名簿4万6423人分のうち有効な署名数は4万1466人。直接請求に必要な市内有権者21万1830人（3月2日現在）の50分の1に当たる4237人を大きく超えた。太田さんは「請求に必要な数の約10倍の署名が集まった。ぜひ住民投票を実現させたい」と話していた。

今後、縦覧期間を経て、署名は一度同会に返却される。その後、同会が原秀樹市長に条例案を直接請求することになる。条例案について、原市長は「住民投票は必要ない」と反対の意見書を付けて市議会に提案するとみられる。【山本健太】